

「季節の花 300」  
<http://www.hana300.com>より  
(写真・説明文引用)



大弁慶草  
(おおべんけいそう)  
花言葉…平穏、信じて従うなど

葉は橢円形で肉質。切り取って数日おいても枯れないほど強いことを、弁慶にたとえた。ふつうの弁慶草と似ているが、大弁慶草の方が花の色がやや濃く、こちらの方がよく知られている。

# 花のお便り

2019.9 No.159

E-mail : info@miyazaki-p.co.jp  
<http://www.miyazaki-p.co.jp/>

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山5-33-2  
TEL. 03-5384-1331 · FAX. 03-3305-2528

京王線が多摩丘陵に差し掛かると、丘陵地帯に所狭しと家や団地が広がる。建築してからすでに40~50年が経過し、住人は70歳を超える。毎日の坂道の往復は健康な方以外は体にこたえる。京王多摩センター駅、聖蹟桜ヶ丘駅、平山城址公園駅、百草園駅周辺の丘陵地帯を歩いて見ると、すでに居住していない家々が目立つ。このような現実は、開発時からすでに分かっていたことだろう。開発業者の今後の動向を見守りたい。



## 世田谷区で発展する街バル

2015年に八幡山商店街始めた街バルは、今年で4年目に入るが、これまで世田谷区では、約20ヶ所の商店街が開催するようになりました。1枚700円から800円のチケットを買い、4~5軒の飲食店を飲み食べ歩く。店



は通常提供している料理も含め、この日のために工夫した料理も提供する。美味しいければ新たなお客様の開拓にもつながるとあって、一生懸命だ。この日はどの店も満席で、店の前には行列が出来ることは毎度のことだ。店の滞在時間はどこの商店街でも決まっていて、ほぼ20~30分だ。お客様の方も心得たもので、外にいらんでいるお客様を気にして、気持ちよく席を立ってくれる。そんな店とお客様の素晴らしいコラボを見にきませんか。弊社がリーフレットやポスターの作成をしている街バルの予定です。芦花公園街バル10月4日(金)・八幡山街バル11月15日(金)



## 気まぐれエッセイ 片倉城見学し、面白いカレー屋さんへ

子ども達の夏休みも残り少ない8月の終盤に、京王片倉駅を下車し片倉城へと歩きはじめる。16号線を10分で片倉城跡の看板、確かに平山城址公園は址を使っている。調べると城趾もあり、どれもさしたる違いはないようだ。入城すると池があり亀や鯉がのんびり泳いでいる。彫刻も多数あり、沼も整備され、睡蓮やコウホメの花も咲いている。さすが山城とあって登りは凄まじい。急な階段を登り、お祭りの準備で忙しい住吉神社へ。お参り後本丸跡へ。橋のかかる空堀を挟み、ほぼ同じ広さの本丸が両側にある。想像では、敵兵の来る方向で橋を落とし、どちらかの本丸に逃げたのでは?などと想像を膨らます。他の空堀も予想以上に深く楽しめる。下り始めると沢沿いの湿地にオレンジの花の群生。私の少ない知識では狐のカミソリと見たが?どうかな。オニヤンマのい

る湿地や水車などなかなか見応えのある片倉城跡だった。ネットで食事のできる「奥芝商店片倉城」を検索。他にはラーメン屋くらいしかないので、炎天の中とにかく歩く。たくさん並ぶ車中には待ち人多数。受付表に書き待つこと1時間。妻曰く2時間は待った。店内へ入ると10分ほどして注文を取りに来る。どうもカレー屋らしいが、ハンバーグと豚肉のシャブシャブを注文すると、スープは何かと聞く。濃淡両方の味を頼む。するとご飯の量はときた。300gと200gを頼み、飲み物は、ラッシーと昔懐かしい「名犬ラッシー」を思い起こすメニューがあり注文。トッピングも注文し待つこと40分。スープカレーに素揚げの野菜や、特大のハンバーグがテーブルへ。ご飯は別の茶碗に入っている。食べ方を聞き美味しく食べたが、今度行くときは良く吟味して注文しなければ。

みやざき印刷ホームページにて  
気まぐれエッセイ随時更新中!



弊社ホームページのブログにもエッセイを掲載しています。  
よろしければ左記QRコードよりアクセスしてご覧ください。